

**【概要・目的】**

民間施設への木造化の普及を図るため、施主に対し木造施設への理解を深める取り組みの推進と、木造施設を提案できる建築士を育成する。また、施設内の空間を確保するために、長スパン等に対応可能な商品を開発する。

**平成 28 年度の当初計画 (P)**

**1. 公共事業や公共施設での県産材の率先利用と木製品の需要の拡大**

- (1) 県産材利用拡大に向けた事業PR
  - ・木の香るまちづくり推進事業PR：1次募集（4月）  
：2次募集（8月）
  - ・木造公共施設等整備事業の施設完成（6月：1施設、3月：5施設）
- (2) 県産材利用推進に向けた行動計画の確実な実行
  - ・各林業事務所担当者会の開催（4月～5月）
  - ・県産材利用推進幹事会の開催（8月）
  - ・県産材利用推進本部会の開催（9月）
  - ・県産材利用地域推進会議の開催（10月～）
  - ・市町村の公共建築物等の木造化・木質化の推進に向けた取り組み

**2. 低層非住宅の木造化の推進【新規】**

- (1) 高知県林業活性化推進協議会による非住宅建築物木造化の推進
  - ・非住宅木造建築を紹介する事例集の作成（～2月）
  - ・コスト縮減に繋がる新製品の開発（～2月）
  - ・建築士の技術力向上（5月、2月）
- (2) 県内外への販売促進
  - ・土佐材パートナー企業等への販促活動（2月～）

**3. 県産材を活用した木造住宅建築の促進**

- ・県内の県産材使用住宅への助成
- ・テレビ番組による情報発信（年間24回）
- ・木造住宅フェアの開催（10月22日、23日）

**計画を進めるに当たってのポイント**

- 1. 今後予定される公共建築物の情報を収集し、関係者に向けて木造化・木質化を要請
- 2. 施主や建築士に、木造化のきっかけとなる事例集の作成。低コスト化に繋がる新製品の開発。
- 3. 非住宅木造建築に係る建築士の技術力の向上
- 4. 県産材を活用した木造住宅への支援と取り組みのPR

**平成 28 年度の取り組み状況 (D)**

**1. 公共事業や公共施設での県産材の率先利用と木製品の需要の拡大**

- (1) 県産材利用拡大に向けた事業PR
  - ・木の香るまちづくり推進事業PR：1次募集（4/25：約1,600事業体）  
→ 応募数（33団体・42施設）  
：2次募集（8月末予定）
  - ・公共木造建築の施設完成（6月：日高村立図書館1施設）  
→ 事業計画書（8月：2施設 [[佐川町] の承認、9月末予定：2施設 [佐川町、高知市]）
- (2) 県産材利用推進に向けて行動計画の周知
  - ・5月の各林業事務所の担当者会において、公共施設の木造化・木質化の要請及び木質化に係る支援制度の説明
  - ・県産材利用推進幹事会及び本部会の開催（9月）  
→ 公共建築物等の木造化・木質化について検証  
→ SWPなど新製品の紹介、木の良さのPR及び県産材利用の更なる要請

**2. 低層非住宅の木造化の推進**

- (1) 高知県林業活性化推進協議会
  - ・検討委員会の開催（5/17、7/12、9/16（予定））
  - ・WG1による製品開発の検討（5/30、6/2・9・16・23・30、検討委員会まで各担当者により対応）  
→ リーズナブルな新製品（案）のアイデア出し及び実現化の検討（10案→4案を選定）  
→ 9/16（予定）の検討委員会において2案に選定し、実験計画を作成
  - ・WG2による事例集作成の検討（6/9・14・16・23・30、7/8/25、8/4.16）  
→ 土佐材パートナー企業から非住宅建築の事例収集（6月：2施設）  
→ 建築雑誌等から優良木造建築の選定及び図面等の整理作業中  
→ 県内非住宅木造建築の現地調査（梶原町）及び県外事例の現地調査（9月予定）
- ・施主や建築士を対象としたセミナーの開催（5/17：参加者52名）  
→ 地域材を利用した木造建築の取り組み、木造ラーメン等の設計及び試験方法

**3. 県産材を活用した木造住宅建築の促進**

- ・住宅助成事業の説明会の開催（4～5月・県内3箇所）
- ・住宅助成事業の申込み211戸（7月末現在／対前年比134%（H27.7末158戸））
- ・木と人出会い館を活用した木造住宅及び木の良さの情報発信、住宅相談の実施（来館者数：4月34名、5月55名、6月101名、7月59名）
- ・木造住宅フェア実行委員会の開催（6/29、8/8）

**課題と今後の取り組み (C、A)**

**課題**

**1. 低層非住宅の木造化の推進**

- (1) 高知県林業活性化推進協議会による非住宅建築物の木造化の推進
  - ・モデル施設の整備による実績づくり
  - ・施工を含めたトータルコストを把握し、競争力の高い製品開発・改良

**2. 県産材を活用した木造住宅建築の促進**

- ・施主等への木造住宅のPR

**今後の取り組み**

**1. 公共事業や公共施設での県産材の率先利用と木製品の需要の拡大**

- (1) 県産材利用拡大に向けた事業PR
  - ・木造公共施設等整備事業の施設完成（3月末：4施設）  
→ 1施設はCLT建築物として実施に変更
- (2) 県産材利用推進に向けた行動計画の確実な実行
  - ・県産材利用地域推進会議の開催（10月～：6回）  
→ 公共建築物等の木造化・木質化について検証  
→ SWPなど新製品の紹介、木の良さのPR及び県産材利用の更なる要請
  - ・今後予定される非木造建築物の関係者に対し、木の良さを伝え、木造化及び木質化について要請（随時）

**2. 低層非住宅の木造化の推進**

- (1) 高知県林業活性化推進協議会による非住宅建築物の木造化の推進
  - ・事例集の作成、新商品の開発
  - ・施主や建築士を対象としたセミナーの開催（2月）  
→ 事例集や新製品を紹介
- (2) 県内外への販売促進
  - ・土佐材パートナー企業等への販促活動（2月～）
  - ・H29に向け、モデル建築物の掘り起こし（10月～）

**3. 県産材を活用した木造住宅建築の促進**

- ・木造住宅フェアの開催（10/22, 23）
- ・木と人出会い館を活用した木造住宅及び木の良さの情報発信、住宅相談の実施
- ・エコ住宅相談フェスタの開催（11月）

**【平成 31 年度末の目標（H28 到達目標）】**

- 1. 県有施設の木造化率 = H31：100%（H28：100%（H26：75%））
- 2. 低層非住宅の木造化率 = H31：34%（H28：31%（H26：26%））
- 3. 戸建て住宅の木造率 = H31：現状値以上（全国平均以上）  
（H28：現状値以上（全国平均以上）（H26：90.4%））

**【直近の成果】**

- 1. 県有施設の木造化率 : H27の実績なし  
木造公共施設等整備事業の完成施設 1施設（7月末時点）
- 2. 低層非住宅の木造化率 : 32%（H27実績）
- 3. 戸建て住宅の木造率 : 91.5%（全国平均88.6%（H27実績））